

バングラデシュ都市スラムにおける衛生行動の変容促進と衛生環境の形成

活動地域  バングラデシュ



課題

都市貧困層コミュニティでは様々な感染リスクに曝されているが、感染ルートを断ち、リスク軽減のため、衛生行動の変容並びに必要な衛生設備の改善が求められている。

目標

啓発活動により、下痢症リスク認知レベルの向上を図り、衛生設備の改善意思を形成し、必要な共同利用設備を住民参加のもとで設置し、自主的に管理できる組織を形成する。



今後の
展望

コミュニティの人たちが自主的に衛生環境を維持していくとともに、現地の関係者の手で、活動が進められるよう、ワークショップの教材やコミュニティによる管理業務などの汎用化と伝搬を進めていきたい。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

三つのコミュニティの女性を対象に、感染リスク軽減のため、感染ルートの認知とその遮断につながる衛生行動について、カードを使って考えるワークショップを開いた。衛生行動の変容が確実に継続できるように、既存の設備を改善した。衛生行動の変化、トイレの清潔さの変化、女性がイニシアティブをとることの重要性、衛生環境を維持する活動への参加意識の変化等について、意識調査を行ったところ、ワークショップへの参加、設備改善により、衛生行動の変容とその習慣化、さらには、コミュニティの女性のエンパワーメントを促した。



ワークショップ参加者 **281**人

トイレ使用後の石鹸で
手洗い習慣化 **83**%

今年度計画の達成度 **60**%

目標達成度 **55**%

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

新型コロナウイルス禍で現地は全国的にロックダウン。日本からの渡航もかなわず、メール等による一方向的な指示に終始せざるを得なかった。

■ 工夫した点

ワークショップでは、感染リスクについての認知レベル向上と衛生行動の変容への理解を深められるようにプログラムを改善。



〒101-0027 東京都千代田区
神田平河町1番第3東ビル710号室
E-mail : jade@jca.apc.org
HP : <http://www.jca.apc.org/jade/index.htm>